

- 問1 日本の地質構造において、フォッサマグナが果たしている役割や性質を説明した文として、適切なものを選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
1. 西日本の山地を南北に分断する巨大な断層であり、険しい山脈が連なる要因となっている。
 2. 火山活動によって噴出した火山灰が厚く堆積してきた、東日本に広く分布する平坦な台地のことである。
 3. 日本列島の土台が折れ曲がった際に生じた巨大な溝のような場所であり、地形を東西に分ける境界となっている。
 4. 太平洋プレートが大陸プレートの下に沈み込むことで形成された、海岸線と並行する深い海溝のことである。
- 問2 石川県の能登半島付近から和歌山県の紀伊半島南部にかけて、地形の断面図を作成したと想定します。この区間の地形の配置と標高の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 兵庫県公立入試 類似)
1. 近畿地方の中央部に広大な盆地が広がっているため、断面図の中央部分は標高がマイナスとなり、周囲を100メートル程度の低い丘陵が囲んでいる。
 2. 日本海側から標高が上がり、飛騨山脈などの険しい山岳地帯を越えた後、濃尾平野などの標高の低い地域を経て、再び紀伊山地の険しい山並みが現れる。
 3. 能登半島付近が最も標高が高く、南下するにつれて標高が一定の割合で下がり続け、紀伊半島南端で海拔ゼロメートルに達する。
 4. 日本海側から太平洋側まで、標高の変化がほとんどないだらかな平野部が続いており、大規模な山脈は存在しない。
- 問3 福島県の郡山市周辺を流れる安積疏水は、猪苗代湖から山を越えて安積原野へと導水されています。ポンプなどの機械的な動力に頼らずに、遠く離れた原野まで水を流し続けることができた地理的な理由を説明したものとして、適切なものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 水路の途中にダムを設置し、人為的に水位を一定に保つ工夫をしたから
 2. 安積原野の土壌が水を通しやすい性質を持っており、自然に地下へ浸透するから
 3. 供給源である猪苗代湖の標高が、供給先である安積原野の標高よりも高い位置にあるから
 4. 猪苗代湖の水量が年間を通じて豊富であり、常に強い水圧を維持できるから
- 問4 東日本大震災の教訓を伝える「女川いのちの石碑」は、津波が到達した地点よりも高い場所に設置されています。このように、震災の経験を物理的な形にしてまちづくりに活用する取り組みについて、その背景にある考え方として適切なものはどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 自然災害の発生を完全に防ぐことは不可能であるため、避難を諦めて定住を促進する対策を講じる考え方
 2. 避難の目標地点を視覚的に明示することで、災害時に住民が迅速かつ適切な判断を下せるようにする考え方
 3. 建物の再建が難しい浸水域をすべて更地にし、居住を禁止して公園化を進めるための法的な境界線とする考え方
 4. 石碑を観光資源として活用することで、震災前よりも観光客を増やして町の財政を立て直すことを最優先とする考え方
- 問5 日本列島の地質構造に関する説明として、フォッサマグナの特徴を正しく述べたものはどれですか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 火山活動によって噴出した溶岩が積み重なってきた、標高の高い山脈地帯のことである
 2. 関東地方から九州地方までを内帯と外帯に分ける、日本最大級の断層のことである。
 3. 糸魚川・静岡構造線を西端とする、日本列島を地質的に南北（東西）に分断する巨大な凹地である。
 4. プレーートの沈み込みによって形成された、列島に沿って分布する細長い海溝のことである。
- 問6 日本列島の太平洋側を北上する強い暖流である黒潮（日本海流）が、日本の気候や産業に与える影響についての説明として、適切なものはどれですか。 (2025年 静岡県公立入試 類似)
1. 日本海側を北上し、冬の季節風の影響を受けて豪雪をもたらす水蒸気の供給源となる。
 2. 北極海方面から南下し、サケやマスなどの寒流系の魚を運ぶ役割を果たす。
 3. 水温が非常に低いため、夏季に沿岸部で濃い霧を発生させる原因となる。
 4. 低緯度からの熱を運ぶため、日本の南岸一帯に温暖な気候をもたらす。
- 問7 九州地方の阿蘇山周辺など、火山の分布が見られる地域において、大規模な噴火の後に山体の中央部が陥没することで形成された、巨大な円形や楕円形のくぼ地を何と呼びますか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 盆地
 2. カルデラ
 3. シラス台地
 4. 扇状地
- 問8 九州地方の熊本県に位置し、世界でも最大級の規模を誇るカルデラを持つ山として適切なものはどれか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 桜島
 2. 雲仙岳
 3. 阿蘇山
 4. 霧島山
- 問9 低湿地を横から見た断面図において、周囲の標高が約1mであるのに対し、集落が位置する場所だけが標高約2m強とわずかに盛り上がっている地形が見られます。このような場所に集落が形成された理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 坂道を利用することで交通の利便性が高まり、物流の拠点に適しているため
 2. 標高が高い場所は地盤が非常に強固であり、大規模な工場を建設しやすいため
 3. 周囲より標高が高いため日当たりが良く、農作物の栽培に有利であるため
 4. 河川が氾濫した際でも浸水被害を避けやすく、安全性が高いため
- 問10 2万5千分の1の縮尺の地形図において、図上で8cmの長さで示されている2kmの区間があります。この同じ2kmの区間を、5万分の1の縮尺の地形図で表した場合、図上の長さは何cmになりますか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
1. 16cm
 2. 8cm
 3. 4cm
 4. 2cm
- 問11 防災の観点から、各自治体がハザードマップを作成して住民に普及させることの重要性について説明したものとして最も適切なものを1つ選びなさい。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
1. 過去の災害履歴を記録しておくことで、将来的に災害が発生しなくなる地域を特定し、移住を促進できるから。
 2. 自然災害の発生自体を完全に防ぐことはできなくても、危険区域や避難場所についての認識を広めることで、災害時の被害を最小限に抑える行動が可能になるから。
 3. 各地域の地形や地質を詳細に分析して公表することで、大規模な土木工事や開発事業の優先順位を決定するための根拠となるから。
 4. 住民にハザードマップの作成手順を体験させることで、自治体職員の仕事負担を大幅に軽減できるから。
- 問12 山梨県の甲府盆地などに見られる扇状地では、古くからブドウや桃などの果樹栽培が盛んに行われてきました。この地形において、稲作（水田）よりも果樹栽培が適している理由として、地質の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 高知県公立入試 類似)
1. 土砂に砂や小石が多く含まれており、水はけが非常に良いため。
 2. 地下水位が非常に高く、常に地表が湿った状態にあるため。
 3. 標高が高く涼やかな気候であり、稲の成長には適さないため。
 4. 川の最下流部に位置しており、泥や粘土が厚く堆積しているため。
- 問13 山間部を流れる河川が平地や盆地に出る際、流れが緩やかになることで運搬してきた土砂が堆積して形成される、扇のような形をした地形を何といいますか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
1. 三角州
 2. 扇状地
 3. 氾濫原
 4. 台地